

三芳だより

2013年 3月号 (第196号)

三芳村生産グループ事務所

電話：0470-36-2274 FAX：4016

(火・木・土) 9:00~11:00

< 表面 >

- 1) 編集部あいさつ
- 2) 出荷事務より
- 3) ザ・特集 ~田植えの機械化 1~

< 裏面 > (写真が中心)

- 1) ここまで来た! 田植えの機械化 2
- 2) ABC 保育園がやってきた。
- 3)

初夏のみよし

編集部

新緑の5月。

さわやかで何をすることもいい季節のはずですが、この春は驚くほど寒い日もあり、あわてて分厚い服をだすこともしばしば。

加えて春の嵐も、三月以来度々吹き荒れ、年々天候が荒っぽくなっている気がします。

この5月は、例年、豆類をはじめ出荷野菜が多くなり、三芳でも収穫と同時に田植えもありますので、大忙しです。

三芳村生産グループ内でもそろそろ田植えが終わりそうです。房総地域では、この時期に「さなぶり」というお祭りというか宴会が地域、家族、グループ等で催されます。漢字で書くと「早苗饗」。

福島の会津等、一部の地域では、5月の田植え休み自体のことを「さなぶり」とよぶそうです。関西より西では聞かれない風習ですが、四季折々の農作業と共にある行事をまもなく迎えることができそうです。

出荷事務だより

32番 君塚弘和

昨年の5月と比べて、今年の野菜の出来は良いようです。例年5月は出荷野菜が多い時期ですが今年は、久しぶりに出荷場にも活気があります。

豆類は5月中には終了しますが、玉ねぎはしばらく特注可能となります。6月に入ると、

ニンニク、人参、ジャガイモ(たぶ特注可能です)インゲン等がお届け予定です。お楽しみに。

特注の申し込みについて。

迅速にお届けできる期限は、

★火曜コース(宅急便は水曜日受け取り)前の週の土曜日朝9時半までに連絡。

★木曜コース(宅急便は金曜日受け取り)その週の火曜日朝9時半までに連絡

★土曜コース(宅急便は日曜日受け取り)その週の木曜日朝9時半までに連絡。

出荷場 電話番号

(電話) 0470-36-2274

(FAX) 0470-36-4016

火・木・土曜日の午前9~11時。

以降は留守電。

段ボール回収時のお願い!

段ボールを折りたたむ際、折り目以外のところを無理やり曲げますと、リサイクルできませんので、折り目にそってたたむようにお願いします。

ザ・特集

ここまで来た田植えの機械化

話が古くなりますが、北朝鮮に拉致された蓮池さん一家が帰国して新潟に帰るとき、新幹線から見える広大な水田地帯を見て、蓮池さんの子供が「どうして人が働いていないの?」と驚いたエピソードが紹介さ



三芳で見つけた恐らく唯一の水苗代。一昔前は皆作ってましたが、田植え機の登場で絶滅寸前。

れていました。機械化により農作業から解放され、田園の風景も時代と共に、変わっています。

三芳村生産グループは無農薬で作る分、一般農家より手間暇がかかりますがそれでも、大分機械化が進

んでいきます。……例えば
作業1、たね撒き



この育苗箱に土を入れモミを蒔いて稲を育てます。左はタバコの箱。



育苗箱に均等にモミを蒔き、その上に土をかけ、さらに水を撒く機械。電気モーターで作動。



三芳村生産グループでもこの機械を持っていては、ごくわずか。育苗時箱に手で土を盛り、手蒔きの人が多い。

作業2 クロ塗り



田に水を溜めるため、こねた土を塗る。ほんの5〜6年前は皆、このスタイルでした



が・



あぜを塗る機械が登場。トラクターに取り付け、三反(900坪)の周囲を20分ほどで仕上げる。



機械は60万円以上。持っている人に頼む事が多い。農協によれば、委託料は1m百円が基準とか。三芳村生産グループでは米を作

る23名のうち、7名がこの機械塗り。

作業3 代掻き



トラクターで丸太を引っ張る(左) 耕運機で耕したあとトンボでならす人も(上 '13年4月撮影)



作業4 田植え



育苗箱で作った苗を田植え機にセットして田植えをします。かつては近所、親戚を集めての人海戦術を劇的に変革させたのが田植え機(左下)



三反の田んぼなら3時間程で完了。乗用式田植え機は、もっと早い。

ABC保育園がやってきました。

新宿区新大久保にあるABC保育園の田植えも今年で8年目。4〜5歳児24名。小学生34名の大所帯で来訪。自然におっかなびっくりの子供がいれば、積極的な子供も。

トンボの幼虫、オケラを見せて「これが将来何になるでしょう?」「カニ」「エビ」「サソリ」



総勢58名の子供達と大勢の引率の先生。あいにくの雨模様の中3回に分けて植えました。